

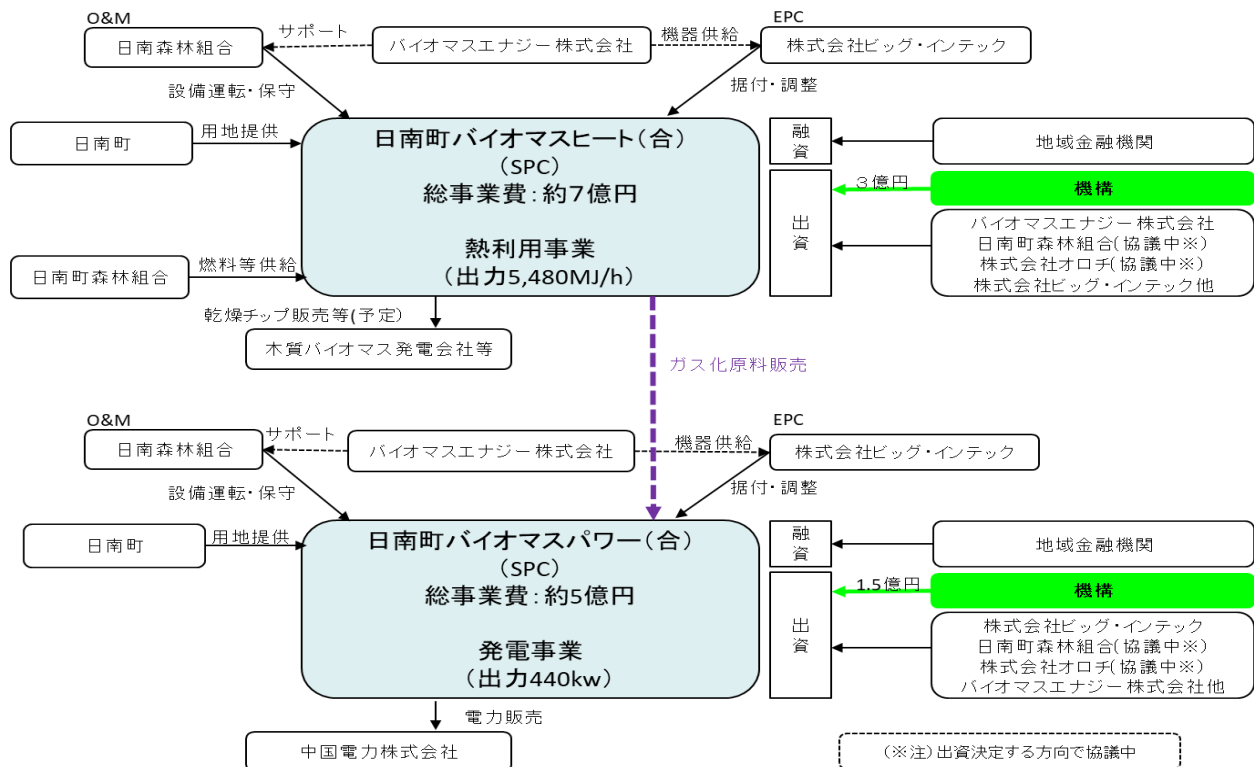
鳥取県日南町木質バイオマス熱利用事業及び発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下「機構」）は、日南町森林組合（所在：鳥取県日南町 代表理事組合長：平田 広志、以下「森林組合」）などの日南町の林業関係者と再生可能エネルギー事業者である株式会社ビッグ・インテック（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：高口 勇人、以下「BIG」）、バイオマスプラントメーカーであるバイオマスエナジー株式会社（本社：長崎県諫早市 代表取締役：平本 光識、以下「BME」）などが推進する木質バイオマス熱利用事業及び発電事業に、合計4.5億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

日南町は、町の9割を占める森林の豊富な資源を余すところなく有効に利用する「カスケード計画」を組み合わせた新たな林業の6次産業化を推進し、継続的に森林を活用していく循環型林業の構築を目指しています（*）が、本プロジェクトは、これまで十分な活用ができなかったバーク（樹皮）などの材を燃料に用い木質チップの乾燥や発電等を行うものであり、これらの施策に大きく寄与するものです。また、本プロジェクトは、国産（BME製）のガス化方式を採用した木質バイオマスプラントを活用したものであり、期待通りの成果を上げている事例が必ずしも多くない日本国内におけるガス化方式での木質バイオマス活用事業全体への波及効果も期待できます。（*：鳥取県日南町 SDGs 未来都市計画 より）

機構は、本プロジェクトが日南町の施策の推進に資するだけでなく、木質バイオマスの活用を含めた林業全般への波及効果も期待できること、並びに、機構の参画が本プロジェクトへの金融機関の融資等の呼び水となりえること等に鑑み、出資決定致しました。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 日南町バイオマスヒート合同会社（以下、「熱利用 SPC」）は、森林組合より供給されたバークなどの材を加工した上で燃焼させ発生した熱を利用してチップを乾燥させ、それを日南町バイオマスパワー合同会社（以下、「発電 SPC」）などに販売するなど、主として材やチップの加工、乾燥に関わる事業を行います。
- ② 発電 SPC は、熱利用 SPC より供給されたバークなどの材を元にした乾燥済原料をガス化炉にてガス化し、生成されたガスをガスエンジンに投入、発電し、発電した電力は固定価格買取制度の下、中国電力株式会社（2020年3月現在）へと販売します。
- ③ BIG が中心となり、両 SPC の設備を据付・調整し、プラントの運転に備えると共に、森林組合が両 SPC の設備の運転・保守を行います。また、技術的な面を中心に、BME が支援を行います。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 既述の通り、日南町の林業関連施策に合致しており、特に、バークなどのこれまで十分に活用できていなかった材を有効活用できるということは、木材のカスケード利用という木材を無駄なく効率的に利用し、地域の木材資源の可能性を最大限に引き出そうとする取り組みに、さらなる付加価値を与え、地域の活性化に資するだけでなく、他の地域においても応用可能であること。
- ② コストの安い材のエネルギーへの利用可能性を広げることは、固定価格買取制度などに依存しない木質バイオマスの利用事業への道を開く端緒となりうること。
- ③ ガス化方式による木質バイオマスプラントについては、海外メーカー製のものが大半を占める中、国内メーカー製のプラントを用いた本プロジェクトが計画通り順調に推移した場合、本邦での利用者の利便性が高まると共に、期待通りの成果を上げている事例が必ずしも多くない日本国内におけるガス化方式での木質バイオマス活用事業全体への波及効果も期待できること。
- ④ 機構の参画が、民間金融機関などの参画の呼び水となりうること。
- ⑤ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は、両事業合算にて 4,797t-CO2/年を想定しています）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
